

事例5 3歳児 期間指導計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I期		II期			III期		IV期		V期		

3歳児 第I期 「新しい生活に慣れることを中心とした生活」先生来たよ～親しみを感じて～

子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者から離れきれず泣き出す子どもも、保育者に抱っこしてもらったり、後を追いかけてそばにいたりすることで安定していき、「先生おはようございます！」と喜んで登園するようになる。</li> <li>○保育者を心の拠り所にし、一緒にいることで安心感をもち、一日を過ごす子どももいる。</li> <li>○入園当初は園生活の不安が強く、鞆を離さず持ったまま過ごしたり、片付ける場所や自分のものが分からずにいたり姿も見られる。</li> <li>○手洗いの仕方やトイレの使い方を教えてもらいながら、遊んだ後に保育者に声をかけられ自分で手洗いをしようしたり、保育者にそばにいてもらいながら自分で排泄したりする。</li> <li>○ブロックやままごと、砂場などに興味をもち、保育者と一緒に落ち着いて遊ぶようになる。</li> <li>○「先生みて！」「先生こっちきて！」と保育者との触れ合いを喜ぶ。</li> <li>○保育者が絵本を読み始めると、「あ！うさぎだ！」「りんごがある！」などと指をさしたり、絵本に触れたりして興味をもち始める。</li> <li>○『ちょうちょ』や『チューリップ』などの歌を保育者が歌うと、動植物になって動いたり、知っている歌は大きな声で歌ったりして楽しむ。</li> </ul> <div data-bbox="159 1048 805 1310" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>【子どもの姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの遊びの様子や友達とのかかわり、生活の様子など、ありのままの姿を捉え、特徴的な姿を書き記している。</li> </ul> </div>
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○喜んで登園し、保育者に親しみを持ち、園生活を過ごす。</li> <li>○保育者と一緒に身の回りの始末をしながら仕方を学ぶ。</li> </ul> <div data-bbox="837 1310 1436 1512" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>【ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの発達・実態をじっくり捉え、教育要領の内容にも目を配り設定。</li> </ul> </div>
内容 ○養護の働き ○教育の働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のクラスや担任の先生が分かり、親しみを感じたり安心感を持ったりして過ごす。</li> <li>○保育者に教えてもらいながら、身の回りの始末や排泄を一緒にしようとする。</li> <li>○園の遊具や玩具に興味をもち、保育者と一緒に遊ぶ。</li> <li>○絵本や紙芝居を読んでもらったり、保育者と一緒に歌を歌ったりすることを楽しむ。</li> <li>○保育者と一緒に園庭の草花や小動物を見たり遊んだりする。</li> <li>○保育者や友達と一緒に好きな食べ物を美味しく食べる。</li> </ul> <div data-bbox="909 1780 1428 1982" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>【内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ねらいを達成するために経験してほしいことを書き記している。</li> </ul> </div>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">環境構成と援助のポイント</p>	<p>○感じたままを言葉や表情や動きで表している姿を受け止めながら、喜んで登園できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任が保育室前で「おはようございます。〇〇さん。」と一人一人を優しく迎えられるように配慮する。</li> <li>・泣いて登園する子どもには、抱っこや手を繋ぐなどのスキンシップをとったり、遊びに誘ったりして安心できるようにする。</li> </ul> <p>○持ち物の始末や着替え、排泄などの仕方を具体的に教え、一緒にしながら自分でしようとする姿を認めたり、最後まで見届けたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鞆などの持ち物の始末が自分でできるように、個人マークのついている置き場所を一緒に探し始末の仕方を伝える。</li> <li>・始末の仕方に戸惑う子どもには、個々に応じて声をかけながら最後までできるように見守っていく。</li> </ul> <p>○安心して遊べるように人形やブロックなど過程で慣れ親しんでいる遊具や触っていて気持ちの良い子小麦粉粘土などを十分に用意し保育者の一緒に楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者も一緒に遊ぶことを通して、「見て」「来て」「して」などの子どもの要求に応じたりする。</li> <li>・園庭でも安心して遊べるようにする。</li> </ul> <p>○みんなで集まって絵本を見たり、歌を歌ったりする時間をもち、保育者と一緒に楽しめたりするようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知っている歌や親しみのある動植物の出てくる絵本を選び、読み聞かせをしたり保育者も一緒に歌ったりし、楽しさが感じられるようにする。</li> </ul> <p>○保育者と一緒に動植物に触れ合い、安心感や楽しさを感じられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウサギやカメ、サカナなどを一緒に見たり、餌をやりに行ったりして親しみをもつ。</li> </ul> <p>○給食の手順を伝え、ゆっくり食事ができるように十分に時間をとったり、楽しく食べられるようにしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いをする、自分の席で待つ、そろって「いただきます」「ごちそうさま」を言うなど、することを一緒にしながら伝える。</li> </ul>
<p>写真</p>	<p>写真</p> <div data-bbox="861 1209 1444 1556" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><b>【環境構成と援助のポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境構成は、場・もの・時間等について配慮点を記している。</li> <li>・援助のポイントは、心的な支えや不安の除去など条件や保育者や子ども相互の支え方などについて記している。</li> </ul> </div>
<p>家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の様子や表情を読み取り、安心につながるよう登降園児に家庭での様子を聞いたり、園の様子を具体的に伝えたりする。</li> <li>・子どもや保護者の戸惑いや不安を受け止め、関わりを密にし、信頼関係を築く。</li> <li>・子どもの日々の様子や育ち、保育者の願いを登降園時に伝え、掲示物、クラスだよりなどで発信する。</li> <li>・懇談会やホームページなどを活用し、園の様子を知ってもらうとともに、分かりやすく発信する。</li> </ul>
<p>行事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園式</li> <li>・こどもの日の集い</li> <li>・誕生会</li> <li>・避難訓練</li> <li>・身体測定</li> <li>・健康診断</li> <li>・尿検査</li> <li>・保育参観</li> </ul>

事例6 4歳児 期間指導計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I期		II期			III期		IV期		V期		

4歳児 第I期 何をしようかな? ~落ち着く場を求めて~

子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>○入園の喜びや進級への期待をもって喜んで登園する子どもや、新しい環境に戸惑いや不安を感じて過ごしている子どもの姿が見られる。</li> <li>○緊張や不安から「お母さんがいい」「家に帰りたい」など、泣いた過ごす子どもも、日が経つにつれ、少しずつ園の生活の流れが分かるようになり、保育者のそばで過ごし安定したり面白そうな遊びの場へ行ってみたりするようになる。</li> <li>○保育者と一緒に興味をもった遊びをしながら、同じ場にいる友達存在に気付き、遊び方を真似してみる。受け入れられると喜びを感じ、その友達の顔や名前を覚え、自分からかかわっていきこうとする。</li> <li>○クラスの友達と一緒に絵本を見たり歌を歌ったり、リズム遊びをすることを楽しむようになる。</li> <li>○新しい遊具や用具に興味をもち、自分からかかわろうとする。</li> <li>○小さな生き物などに興味をもち、見たり餌をやったりする。</li> </ul>
	<p><b>【子どもの姿】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの遊びの様子や友達とのかかわり、生活の様子など、ありのままの姿を捉え、特徴的な姿を書き記している。</li> </ul>
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○入園・進級した喜びを感じながら、保育者や友達と安定して過ごす。</li> <li>○新しい環境や生活に慣れ、身の回りのことを自分でしようとする。</li> </ul>
	<p><b>【ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達・実態をじっくり捉え、教育要領の内容にも目を配り設定。</li> </ul>
内容(○養護の働き・教育の働き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい保育室に慣れたり親しみをもったりして安定して過ごす。</li> <li>○保育者に見守られながら身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>○新しい友達とかかわったり一緒に遊んだりしようとする。</li> <li>○身近な環境や目新しい遊具に興味をもち、自分から遊ぼうとする。</li> <li>○春の自然や小さな生き物に興味をもち、触れて遊ぶ。</li> <li>○保育者や友達と一緒に美味しく食べる。</li> </ul>
	<p><b>【内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいを達成するために経験してほしいことを書き記している。</li> </ul>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">環境構成と援助のポイント</p>	<p>○入園・進級した喜びや、新しい環境の不安など、一人一人の思いを丁寧に受け止め安心して過ごせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室に、誕生日表や壁面装飾など温かさを感じられるようにする。</li> <li>・不安な気持ちを受け止め、担任と一緒に過ごしながらい園生活を安心して過ごせるようにする。</li> <li>・学級だよりで園の様子を保護者に知らせたり、必要に応じて家庭と連絡を取ったりする。</li> </ul> <p>○園生活に不安を感じさせないように、場や置き場が分かるように絵と文字で表示し、生活の仕方を教えていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の保育室や持ち物の置き場所が分かるように、一人一人に個人マークを貼っておく。</li> <li>・持ち物の始末をしていく姿を認め、自分でしようとする気持ちをもてるようにする。また、最後までしっかりできているかを見届ける。</li> <li>・トイレや靴箱の場所、使い方を丁寧に教えていく。</li> </ul> <p>○新しい友達を意識して過ごせるように、かかわりがもてるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい友達とかかわりがもてるゲームやわらべ歌遊びなどを積極的にしたりする。</li> <li>○好きな遊びにすぐ取り組めるように広さや取り出しやすさを考えて場を準備したり、目新しい遊びを提供したりしていく。</li> <li>・友達とかかわって楽しめるように広い場所や時間を保障したり、ままごと道具を用意したりする。また、容器や空き箱等を用意し自分から遊べるようにする。</li> <li>○春の生き物や草花に興味をもてるように置いたり、集めたりして保育者も一緒に楽しめるようにする。</li> <li>・草花や虫を集めたりじっくりと見たりできるように、小さな容器や観察ケースを準備しておく。</li> <li>○マナーを守りながら保育者や友達と一緒に楽しく食べられるようにする。</li> <li>・手洗いうがいができているかを確認したり、配膳を待つことや食器を片付けるなどのマナーを分かりやすく教えたりする。</li> </ul>
<p>写真</p>	<p>写真</p> <div data-bbox="869 1205 1449 1541" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><b>【環境構成と援助のポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境構成は、場、も、時間等について配慮点を記している。</li> <li>・援助のポイントは、心的な支えや不安の除去など条件や保育者や子ども相互の支え方などについて記している。</li> </ul> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級当初の新しい環境に慣れない中、笑顔で接しながら保護者の話や要望を聞いたり、子どもの園での様子を伝えたりして、保護者との信頼関係を築けるようにする。</li> <li>・新しい環境で生活することで、疲れが出たり甘えたりするので、家庭での休養の仕方を伝えていく。</li> <li>・生活面で気になることは、これまでの家庭での様子を聞いて今後の対応の仕方を相談する。</li> <li>・個々の健康状態やかかりやすい病気など把握しておく。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">行事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園式</li> <li>・身体測定</li> <li>・健康診断</li> <li>・園内巡り</li> <li>・誕生会</li> <li>・家庭訪問(個人面談)</li> <li>・保育参観</li> <li>・避難訓練</li> </ul>

事例7 5歳児 期間指導計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
I期		II期			III期		IV期		V期		

5歳児 第5期 「各年齢の目標の充実に向けた生活」もうすぐ1年生 ～自信をもって～

子どもの姿	<p>○同じ遊びを進めていく仲間同士で、思いや考えを伝え合いながら相談したり、ルールを決めたりして遊びを楽しみ進めている。</p> <p>○正月遊びを通して、文字や数字への関心が高まり、進んで遊びに取り入れようとする。</p> <p>○5年生との給食交流や、1年生からのお招き会を通して就学に向けて期待や意欲が高まっている。</p> <p>○<b>【子どもの姿】</b>                  ・子どもの遊びの様子や友達とのかかわり、生活の様子など、ありのままの姿を捉え、特徴的な姿を書き記している。</p>
ねらい	<p>○目的に向かって協力し、やり遂げていく喜びを味わう。</p> <p>○自信を持って行動し、充実感を味わう。</p> <p>○<b>【ねらい】</b>                  ・子どもの発達・実態をじっくり捉え、教育要領の内容にも目を配り設定。</p>
内容○養護の働き・教育の働き	<p>○共通の目的に向かって、友達と力を合わせ、励まし合って最後までやり遂げる。</p> <p>○それぞれの考えを出し合いながら、自分たちで生活を進めていく。</p> <p>○ストーリーやイメージを膨らませ、それぞれに合った言葉や動き、場などを工夫し合って楽しむ。</p> <p>○目的をもって取り組み、やり遂げた満足感を味わう。</p> <p>○小学校への期待をもって生活をする。</p> <p>○身近な人々に感謝の気持ちを表そうとする。</p> <p>○季節の移り変わりを感じたり、春の訪れを喜んだりする。</p> <p>○感謝の気持ちをもって楽しく食べる。</p> <p>○<b>【内容】</b>                  ・ねらいを達成するために経験してほしいことを書き記している。</p>

<p>環境構成と援助のポイント</p>	<p>○修了を前に、園生活を振り返ると共に自ら基本的な生活習慣や態度を改めて見直す機会とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもちながら、主体的、意欲的に生活を進めることができるように先の予定を知らせたり、分かるように掲示したりする。</li> </ul> <p>○ストーリーやイメージを膨らませ、それぞれに合った言葉や動き、場などを工夫し合って楽しむことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の思いを受け止め、自分の力を十分に発揮できるように励ましたり、認めたりする。</li> </ul> <p>○それぞれの考えを出し合いながら、自分たちで生活を進めていけるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と思いがぶつかる時などは、子ども同士で解決できるように見守り、助言する。</li> </ul> <p>○共通の目的に向かって、友達と力を合わせ、励まし合って最後までやり遂げられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通の目的をもって遊びをつくったり、進めたりできるように出し合える場を設ける。</li> <li>・友達のをさを認めつつ、自分もそのクラスの仲間である喜びや一体感を感じられるようどもの活躍や役割を担う姿を認める。</li> </ul> <p>○季節の移り変わりを感じたり、春の訪れを喜びを味わえるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然の変化に気付くことができるように働きかけ、感動を共有する。</li> <li>・日本古来の風習や新年を迎えた喜びを感じられるような装飾をしたり、家庭での話を聞いたりする。</li> <li>・文字や数量などに興味や関心がもてるように正月遊びや遊具を用意する。</li> <li>・遊びに必要なものを作るため、材料を選んだり、友達と一緒につくったりできるよう材料や場を整える。</li> </ul> <p>○身近な人々に感謝の気持ちを表そうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修了を機に支えてもらった人への感謝の気持ちがもてるように一緒に振り返る。</li> </ul> <p>○小学校への期待をもって園生活を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修了を迎える喜びや進学への期待を感じられるような</li> </ul>	<p><b>【環境構成と援助のポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境構成は、場・もの・時間等について配慮点を記している。</li> <li>・援助のポイントは、心的な支えや不安の除去など条件や保育者や子ども相互の支え方などについて記している。</li> </ul>
<p>家庭との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な子どもの姿を伝えながら、生活発表会へのねらい、取り組みや過程を大切にしているということ伝える。</li> <li>・基本的な生活習慣や態度が身についているか一緒に確認し、子どもの意欲や自信につながるよう家庭と連携する。</li> <li>・1年間の子どもの育ちを共有し、子どもの成長を喜び合い、親子で期待を膨らませ就学を迎えられるように話し合う。</li> <li>・安心して入学を迎えられるよう保護者の要望に応じ、一人一人の育ちや様子など小学校との連絡、連携を行う。</li> </ul>	
<p>行事</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節分の集い</li> <li>・生活発表会</li> <li>・ひなまつりの集い</li> <li>・お別れ遠足</li> <li>・お別れ会</li> <li>・修了式</li> </ul>	

事例8 月間指導計画

4月 指導計画 (3歳児)

前週末の子供の姿	4月のねらい	家庭との連携	教材資料	4月の予定	食育
<p>◎新しい場所や生活に慣れる。 ○保育者に援助されながら、新しい保育室の生活に少しずつ慣れる。 ◎保育者と触れ合いながら、親しみを持つ。 ○保育者に親しみをもち、名前を覚えたり、一緒に遊んだりする。 ◎保育室の玩具や遊具など、興味を持った遊びを楽しむ。 ○保育者と一緒に遊んだり、興味を持った遊びを楽しんだりする。</p>	<p>◎新しい生活の流れに慣れ、安心して過ごす。 ◎自分の好きなあそびを見つけ、友達や保育者と十分に楽しむ。 ◎戸外で春の自然にふれて楽しむ。</p> <p>●登園を喜び、期待を持って登園してくる子がいる一方、新しい環境に戸惑い、不安や緊張を感じている子や不安で親と離れることを嫌がり泣く子もいる。 ●新しい環境や初めてのことに戸惑い、緊張しながら過ごす子もいるが新しい環境に興味や関心も示している。</p>	<p>●ひとりひとりの子どもの様子を個々に伝え、保護者と保育者が、その子どものよさを共有できるようにする。 ●遊びや活動の様子を撮った写真を廊下に掲示したり、保育参加を行ったりして、子どもの様子や保育の内容について伝え、保護者の理解を求めていく。</p> <p>●登園を喜び子どもも多いが、泣いて登園する子もいる。 ●新しい玩具やコーナーで遊ぶことに少しずつ慣れてきている。 ●興味から保育室から出ていけるなところへ行く子も見られる。</p>	<p>●歌 ・先生とおもたち ・おはながわらった ・こいのぼり</p> <p>●歌 ・こやまてこちゃん ・まきはのがつしよつだん ・ともだちいつはい ・まわせまわせ ・なへなへそこぬけ</p> <p>●遊 ・まきはのがつしよつだん ・ともだちいつはい ・まわせまわせ ・なへなへそこぬけ</p> <p>●絵本 ・ソントンシリーズ ・なにをたべてきたの？ ・だるまさんシリーズ ・ももんちゃん ・いってきまあす ・ぞうくんのさんぽ</p>	<p>●入園式 ●歯科検診 ●尿・びよ虫検査 ●発育測定 ●個人面談 ●保護者会 ●避難訓練</p>	<p>●楽しい雰囲気の中で食事をすることを楽しむ。 ●種まきや水やりを通して、栽培物(野菜)の世話をすることに興味を持つ。</p>
◎ねらい ○内容	◎新しい場所や生活に慣れる。 ○保育者に援助されながら、新しい保育室の生活に少しずつ慣れる。 ◎保育者と触れ合いながら、親しみを持つ。 ○保育者に親しみをもち、名前を覚えたり、一緒に遊んだりする。 ◎保育室の玩具や遊具など、興味を持った遊びを楽しむ。 ○保育者と一緒に遊んだり、興味を持った遊びを楽しんだりする。	◎新しい環境や保育者に慣れ、安心して過ごす。 ○生活に慣れ、保育者と一緒に遊んだり身支度をしたりする。 ◎こいのぼりを見るなどして、こどもの日に興味を持つ。 ○こいのぼりを見たり、こいのぼりの歌をうたったりする。 ◎戸外で遊んだり、春の自然に触れたいことを楽しむ。 ○園庭を探索したり、虫や草花に触れて遊んだりする。	◎新しい環境や保育者に慣れ、安心して過ごす。 ○生活に慣れ、保育者と一緒に遊んだり身支度をしたりする。 ◎こいのぼりを見るなどして、こどもの日に興味を持つ。 ○こいのぼりを見たり、こいのぼりの歌をうたったりする。 ◎戸外で遊んだり、春の自然に触れたいことを楽しむ。 ○園庭を探索したり、虫や草花に触れて遊んだりする。	◎生活の仕方や流れがある程度分か り、安心して過ごす。 ○保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でやろうとする。 ◎戸外で体を動かして遊んだり、春の自然に触れたいことを楽しむ。 ○固定遊具や追いかけっこで体を動かしたり、草花や虫を見つけたりする。 ◎こいのぼり作りを楽しむ。 ○保育者や友達と一緒に、思い思いのこいのぼりを作る。	◎生活の仕方や流れがある程度分か り、安心して過ごす。 ○保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でやろうとする。 ◎戸外で体を動かして遊んだり、春の自然に触れたいことを楽しむ。 ○固定遊具や追いかけっこで体を動かしたり、草花や虫を見つけたりする。 ◎こいのぼり作りを楽しむ。 ○保育者や友達と一緒に、思い思いのこいのぼりを作る。

環境 ・ 援助 ・ 配慮のポイント

<p>振り返り 評価と</p>	<p>安心してできるくつろぎの場に ◆登園時に一人一人に声をかけながら安心して入室して生活できるようにする。 ◆保育者と一緒に行いながら、登園時の支度や生活の仕方を知らせていく。 ◆不安そうなお子どもや緊張しているお子どもには優しく声をかけたり、手を繋いだり、抱っこしたりするなどスキンシップをしながら安心してできるようにする。 ◆生活の範囲が広がっていくので、他のクラスの職員と連携をとりながら安全に過ごせるようにする。</p> <p>一人一人が夢中になれる環境を ◆保育者が一緒に遊んだり、話しかけたりしながら、時には見守ったりして遊びが楽しめるようにする。 ◆新しい玩具への興味から片付け図に次々と出す姿が見られるので、保育者が玩具を整理するなどして好きな遊びが見つけられるようにしていく。 ◆子どもの親しんでいる歌をうたう。 ◆戸外遊びで、開放感を味わう。 ◆落ち着いて食事ができる環境を ◆食事の量を調整しながら、無理なく楽しい雰囲気の中で食べられるようにする。</p>	<p>保育者や友達に親しみが持てるよう ◆登園時は一人一人と笑顔で挨拶をし、同じ目線で話しかけ、安心してできるようにする。 ◆不安が見られる子には、スキンシップを図りながら、気持ち落ち着かせていく。 ◆自分で身の回りのことをしようとしている気持ちを大切にしながら、褒めたり、できないところはでついたりする。 ◆トイレの使い方などを繰り返し伝えていく。失敗してしまったときには、保育者がスムーズに対応できるようにしておく。 ◆固定道具(滑り台・ジャンプジム・砂場など)の使い方を知らせ、安全に遊べるようにそばにつき見守る。</p> <p>好きな遊びを楽しめるように ◆興味を持って遊べるように、見守りながら、遊びが見つけられない子には誘いながら、一緒に遊ぶ。 ◆ままごとを一緒にしたり、絵本を読んだりして、保育者に親しみを持てるようにしていく。 ◆知っている歌を歌ったり、手遊びを楽しんだりする。</p>	<p>好きな遊びが楽しめるように ◆室内では遊ぶ場所や子ども達が取り出しやすい位置に遊具を置き、楽しめるようにする。 ◆戸外では、虫を見つけたり、花を触ったり春の自然に親しむ。 ◆砂遊びでは、一緒に山を作ったり、型抜きで楽しんだりする。 ◆砂の感触が苦手な子には無理をさせずに好きな遊びができるようにする。 ◆保育者が鬼になり、追いかっこや体を動かして遊ぶ。</p> <p>自分でやってみようとする ◆身の回りのことを自分でしようとする気持ちや大切にしなげら、生活に見通しを持つよう言葉かけをする。 ◆食事の量や苦手な食材を調整しながら、楽しい雰囲気の中で食べられるようにする。 ◆こどもの日に興味を持てるように ◆園庭に飾られたこいのぼりを見たり、歌を歌ったり、子どもの日の話をしたりする。 ◆風に泳ぐこいのぼりを見つけ、吹く風の心地よさを感じたり、こいのぼりの大きさの違いに興味を持ったり、気づいたりするよう言葉かけをする。</p>	<p>安心して好きな遊びを楽しめるように ◆園生活に慣れてくる一方で、心身の疲れが出てくる時期なので、家庭の様子を聞きながら子どもたちの様子を把握する。 ◆簡単な身の回りのことを自分でしようとする気持ちを受け止めて見守ったり、出来た喜びを共感したり、難しいところはさりげなく手伝う。 ◆困ったことやしてほしいことなどのお子どもからのサインをしっかりと受け止め、安心して自分の思いを出せるようにする。</p> <p>戸外遊びを楽しめるように ◆園庭で草や花を使っての見立て遊びを保育者も一緒に楽しむ。 ◆固定遊具の使い方は、その都度丁寧に知らせ安全に遊べるようにする。 ◆戸外では、保育者との追いかっこや固定遊具で繰り返し遊ぶ中で、身体を動かして遊ぶことが楽しいと思えるようにする。 ◆こいのぼりに興味をもって ◆フレパスやのりの使い方は、保育者が見本を見せ丁寧に知らせる。 ◆出来上がったこいのぼりにひもを通して保育室に飾り、出来上がった喜びが感じられるようにする。</p>
<p>☆新しい環境に少しずつ慣れていたが。 ☆保育者に親しみをもちたが。 ☆自分の好きな遊びを見つけて遊んでいたが。 ☆身の回りのことや生活の仕方がある程度分り、安心して過ごせるように援助できたが。 ☆戸外で遊ぶことを楽しんでいたが。</p>				



事例9 月間指導計画  
4月 指導計画  
(4歳児)

4月のねらい	家庭との連携	教材資料	4月の予定	食育									
<p>前週末の子供の姿</p>	<p>4月当初の子どもの姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●入園し、進級式を終え、期待を持って登園してくる子がいる一方、新しい環境に戸惑い、不安や緊張を感じている子や不安で親と離れることを嫌がり泣く子もいる。</li> <li>●新しい環境や始めるのことに戸惑いながら、緊張しながら過ごすすもいるが新しい環境に興味関心も示す。</li> </ul>	<p>4月のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎新しい生活の流れに慣れ、安心して過ごす。</li> <li>◎自分の好きなあそびを見つげ、友達や保育者と十分に楽しむ。</li> <li>◎戸外で春の自然にふれて楽しむ。</li> </ul> <p>家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ひとりひとりの子どもの様子を個々に伝え、保護者と保育者が、その子どものよさを共有できるようにする。</li> <li>●あそびや活動の様子を撮った写真を廊下に掲示したり、保育参加を行ったりして、子どもの様子や保育の内容について伝え、保護者の理解を求めていく。</li> </ul>	<p>教材資料</p> <table border="1"> <tr> <td>歌</td> <td>園歌 ・先生とおともだち あそびがこりやこりや ・こいのぼり おはながわらった ・春ですな春ですよ</td> </tr> <tr> <td>歌</td> <td>まわせまわせ ・なべなべそのぬけ まきはのがつしょうだん</td> </tr> <tr> <td>遊び</td> <td>まさばの合唱団 ・おおかみさん なかくよしさん ・もうじゅうがりへいこう ぐるんぼのようちえん ・そらいろのたね</td> </tr> <tr> <td>絵本</td> <td>わたしようちえんにいくの ・ノンタンシリーズ ・生活習慣シリーズ ・おおきなおおきなおれ たまごにいちゃんシリーズ</td> </tr> </table>	歌	園歌 ・先生とおともだち あそびがこりやこりや ・こいのぼり おはながわらった ・春ですな春ですよ	歌	まわせまわせ ・なべなべそのぬけ まきはのがつしょうだん	遊び	まさばの合唱団 ・おおかみさん なかくよしさん ・もうじゅうがりへいこう ぐるんぼのようちえん ・そらいろのたね	絵本	わたしようちえんにいくの ・ノンタンシリーズ ・生活習慣シリーズ ・おおきなおおきなおれ たまごにいちゃんシリーズ	<p>4月の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入園式</li> <li>・始業式</li> <li>・歯科検診</li> <li>・尿・ざよう虫検査</li> <li>・保育検定</li> <li>・個人面談</li> <li>・保護者会</li> <li>・避難訓練</li> </ul>	<p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食になれ、楽しく食べよう</li> <li>・食器の配ぜんや片付けの仕方を知り、自分でやってみようとする。</li> <li>・種まきや水やりを通して、栽培物(野菜)の世話をすることを楽しむ。</li> </ul>
歌	園歌 ・先生とおともだち あそびがこりやこりや ・こいのぼり おはながわらった ・春ですな春ですよ												
歌	まわせまわせ ・なべなべそのぬけ まきはのがつしょうだん												
遊び	まさばの合唱団 ・おおかみさん なかくよしさん ・もうじゅうがりへいこう ぐるんぼのようちえん ・そらいろのたね												
絵本	わたしようちえんにいくの ・ノンタンシリーズ ・生活習慣シリーズ ・おおきなおおきなおれ たまごにいちゃんシリーズ												
<p>◎ねらい ○内容</p>	<p>◎新しい生活の流れを知り、安心して過ごす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者と十分にかかわる。</li> <li>○一日の生活の流れを知る。</li> <li>○保育室の環境を知る。</li> <li>◎室内や戸外で好きなあそびを十分に楽しむ、友達と楽しむ。</li> <li>○好きなあそびを見つけて、自分からあそぶ。</li> <li>○戸外に出てあそぶ。</li> </ul>	<p>◎身の回りの危険や安全について関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○戸外や室内での危険について知る。</li> <li>○安全に気を付けようとする。</li> <li>◎室内や戸外で好きなあそびを十分に楽しむ、友達と楽しむ。</li> <li>○戸外で体を動かしてあそぶ。</li> </ul>	<p>◎あいさつや片付け方を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食事の配ぜんや後片付けをする。</li> <li>○当番みんなの前であいさつをする。</li> <li>◎季節の制作を通して、作ることに楽しさを味わう。</li> <li>○イメージ豊かにこいのぼりを作る。</li> <li>◎夏の草花の栽培を楽しむ</li> <li>○友だちと一緒にひまわりやあさがおの花を育てる。</li> <li>◎春の自然に親しむ。</li> <li>○春風の心地よさを感じながら遊ぶ。</li> </ul>	<p>◎廊下で走って人にぶつかると、危険な行動が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●話し合ってグループ名を決めたことから、話し合いの意味を徐々に理解し始めている。</li> <li>●気の合う友達と誘い合って、好きなあそびを楽しんでいる。</li> <li>●園の大きなこいのぼりを見て喜んでいる。</li> </ul>									

環境援助配慮のポイント	安心して生活する」配慮について	「自分でやりたい」「自分でできる」を見守る	視覚的にわかりやすく	あいさつや食事の準備を身につける
<p>◆子どもが安心して、話しかけられるように、保育者は温かい笑顔と言葉で迎え、ゆったりとした雰囲気を作ります。</p> <p>◆掲示物や人形などを使って、朝の準備の仕方など、生活の流れをわかりやすく話したり、子どもが見通しをもって過ごせるように環境を整えたりする。</p> <p>◆制作道具など物の場所や名前をわかりやすく伝え、みんなの物は使ったら元に戻すよう伝える。保育室で気持ちよく過ごすために必要な物の使い方子どもが気づけるようにする。</p> <p>◆ひとりひとりが夢中になれる環境を</p> <p>◆前年度の担任から、好きなあそびを聞いて準備しておき、あそびに興味をもつて安心して過ごせるようにする。</p> <p>◆個々の興味をとらえ、満足するまでやってみようとする気持ちを大切に、自由あそびの時間を十分に与える。</p> <p>◆天気の良い日は、戸外で草花や近隣の田畑の栽培物を見るなどし、身近な自然の様子に気づけるようにする。</p> <p>◆子どもがいつでも使えるように、虫かごや水槽、図鑑、ポリ袋、砂場の道具などを準備しておき、あそびへの意欲を刺激すると共に、興味・関心を深められるようにする。</p>	<p>◆「友達や保育者と十分に楽しむ」について</p> <p>様々な環境を用意し、ひとりひとりが好きなあそびを楽しめるように工夫した。そのなかで、保育者も一緒にやってみたり、素材を足したり、スペースの再構成を行ったりすることで、友達同士がつながり合ったりあそぶ場面も見られた。自分の思い通りにならないと相手とのトラブルに発展することもあったが、保育者が仲立ちすることで少しずつではあるが自分の気持ちに言葉にしたり、相手の表情に気づいたりしながら、解決しようとする姿が見られた。友達とのかかわり方については、引き続き、場をとらえて根気よく援助していく。</p>	<p>◆食事の配ぜんや片付けの仕方、写真や人形を使ってわかりやすく伝えながら、ひとりひとりの様子を見て褒めたり、助言をしたりして、やる気を引き出していく。</p> <p>◆相手の気持ちに気づけるように</p> <p>◆自分の気持ちをうまく伝えられないときは、保育者が子ども同士の話を整理し補い、安心してかかわれるようにする。</p> <p>◆子ども同士がつながる環境を</p> <p>◆「○○ちゃんや△△ちゃん、一緒に家を作っているのね」など、友達同士が相互に意識できるような言葉をかけ、お互いの存在に気づいていけるようにする。</p> <p>◆子ども同士と一緒に取り組めるようなおもちゃ（ブロックなど）や素材（広告紙や折り紙、テープなど）を用意し、あそびを通してかかわれるようにする。</p> <p>◆はさみなど道具の扱いには個人差があるので、個別に合った材料や教材を準備する。保育者が切ってみせるなどして、意欲的に取り組めるようにする。</p> <p>◆保育者が一緒に戸外で砂山を作ったり、体を動かしたりしながら、子ども同士が十分にかかわりをもてるようにする。</p>	<p>◆保育室のドアや廊下など危険な場所については、視覚教材や写真を使いながら、子どもが具体的にイメージしやすいように話す。また、実際に園舎内や戸外を回りながら、その場でどんなことをすると危険なのかやってみせ、子どもと一緒に確認する。→詳細はP.38</p> <p>◆はさみの刃を人に向けてなど、危険な場面では「どうして危ないのか」「どうすれば安全か」を子どもと繰り返し確認し、子どもが気づいたときは十分に認め、「やってよいこと、悪いこと」に気づけるようにする。</p> <p>◆体を動かすことをみんなで楽しめるように</p> <p>◆園庭に曲線を引いて、その上を走ってみるあそびなどを取り入れ、子どもが簡単で新しいあそびに挑戦できるような環境を作る。</p> <p>◆子どもが集まってあそんでいるときは、保育者が「次は○○ちゃんだね」など子ども名前を呼び出すことで、同じあそびをしている子どものつながりを感じられるようにする。</p>	<p>◆食事の配ぜんや片付け、あいさつの当番を交代で行い、食事の準備や人前で話すことに慣れていけるようにする。子どもの様子を見ながらやり方を丁寧に伝えていく。</p> <p>◆イメージを大切に制作を</p> <p>◆こどもの日の由来を話したり、園庭のこいのぼりにふれたりする機会を作り、こいのぼりへの関心を高めしていく。</p> <p>◆どんなこいのぼりが作りたいか、事前に子どもの思いを十分に引き出し、子どもが作る物をイメージしやすくする。</p> <p>◆栽培物に興味をもってかかわる</p> <p>◆栽培するひまわりやあさがおに興味をもてるように種をまく前に話をします。</p> <p>◆個々に植えた場所にネームプレートを準備し自分の育てる花を意識して世話できるようにする。みずやりの際に「おおきくなあれ」などの会話をたのしみながら成長に興味をもてるように配慮する。</p> <p>◆戸外の心地よさや開放感を十分に</p> <p>◆気持ちのよい気候を十分に味わえるように、戸外で過ごす時間を多めにとる。「風が気持ちいいね」などと意識的に保育者が言い、春風の心地よさに気づけるようにする。</p>

事例 10 月間指導計画

1月 指導計画 (5 歳児)

4月のねらい	家庭との連携	教材資料	4月の予定	食育
<p>◎冬の生活の仕方に気づき、健康に関心をもつ。 ◎友達と一緒にルールを工夫して楽しむ。 ◎正月あそびを通して、文字や数に親しむ。</p>	<p>・生活リズムを整えるための配慮や、感染症予防のためにするべきことをお便りで知らせ、家庭でも実践できるようにしていく。 ・伝統的な行事や遊びについて保護者に伝え、家庭でも子どもと一緒にあそび、会話を広げることができるようにする。</p>	<p><b>歌</b> ・たこのうた ・やきさんゆびうた ・すしのうた ・こんこんシヤンのうた ・まめまき ・12支のうた ・ムーニーのうた <b>歌</b> ・おいのパジャマ ・はつゆめよんやさん ・あんたがたどこさ ・こんべえさんの赤ちゃん <b>遊び</b> ぐりとぐらのおきやくさま(福音館書店) おもちのきもち(講談社) ないた赤おに(金の星社)</p>	<p>・修了記念撮影 ・5年生との給食交流会 ・ドッジボール大会 ・誕生会 ・避難訓練</p>	<p>・行事食を通して、日本古来の伝統的な食に関心をもつ。 ・時間や食べられる量など、見通しをもって食事をする。</p>
<p>1月当初の子どもの姿 ●生活リズムが乱れ、不規則になっている子どもいる。 ●久しぶりに会った友達や保育者と新年のあいさつを交わし、会話を楽しんでいる。 ●友達と正月に経験した遊びをしている。</p>	<p>●たこ作りを楽しみにしている。 ●正月遊びを友達と共に楽しんでいるが、遊びのルールが統一されておらず、トラブルになることもある。 ●郵便ごっこの流れで年賀状のやり取りをする子もいる。</p>	<p>●参加人数や個々の経験の差に合わせて、かるたやすごろくのあそび方を変えて楽しんでいる。 ●すごろくなどを通して、数字や文字に興味をもっている。 ●自然の変化を友達に伝え、驚きを共有しようとしている。</p>	<p>●片付けの時間を意識しながらあらそんでいる姿が見られる。 ●協力してすごろくを作り上げていくなかで、自分の思いを通そうとするあまり、トラブルになることもある。 ●友達の気づきに共感しようとする子どもが増えてきた。</p>	<p>◎一日の見通しをもって過ごす。 ◎友達と生活や遊びの進め方を話し合う。 ◎友達と作り上げた達成感を味わい、つながりを深める。 ◎作った物で友達と遊ぶ。 ◎友達と互いのよさを認め合う。 ◎節分について知り、積極的ににかかわろうとする。 ◎イメージを膨らませ、鬼のお面や三方などを作る。</p>
<p>◎冬のふさわしい生活の仕方に気づき、健康に関心をもつ。 ◎生活リズムを整えていく。 ◎手洗い・うがいなどをすすんで行い、感染症予防に努める。 ◎正月の雰囲気を楽しむ。 ◎日本古来の伝統的な食事や行事を経験する。 ◎自分が経験した正月遊びを、友達と一緒にする。 ◎思いを伝える楽しさを味わう。 ◎感じたことや思ったことを、保育者や友達に伝える。</p>	<p>◎ルールのある遊びを、工夫することを楽しむ。 ◎自分で考えたルールを友達と伝え合い、遊びを進める。 ◎ルールを守ってみんなで遊ぶ。 ◎自然を利用した遊びを楽しむ。 ◎風の強さや吹く方向などを意識して、たこ揚げをする。 ◎5年生との給食体験を楽しみながら就学への期待をもつ ◎5年生から給食のマナーを教えてもらいながら、給食をおいしく頂く。 ◎廊下の歩き方や小学校での約束を守りながら行動する</p>	<p>◎ルールのあるあそびを、友達と一緒に工夫することを楽しむ。 ◎友達とドッジボールや遊びのルールを作る。 ◎文字や数に関心をもつ。 ◎アイデアを出し合いながら、すごろくやカランダーを自分たちで作ったり、文字や数量を取り入れた遊びを友達と一緒に楽しむ。</p>	<p>◎一日の見通しをもって過ごす。 ◎友達と生活や遊びの進め方を話し合う。 ◎友達と作り上げた達成感を味わい、つながりを深める。 ◎作った物で友達と遊ぶ。 ◎友達と互いのよさを認め合う。 ◎節分について知り、積極的ににかかわろうとする。 ◎イメージを膨らませ、鬼のお面や三方などを作る。</p>	<p>◎冬のふさわしい生活の仕方に気づき、健康に関心をもつ。 ◎生活リズムを整えていく。 ◎手洗い・うがいなどをすすんで行い、感染症予防に努める。 ◎正月の雰囲気を楽しむ。 ◎日本古来の伝統的な食事や行事を経験する。 ◎自分が経験した正月遊びを、友達と一緒にする。 ◎思いを伝える楽しさを味わう。 ◎感じたことや思ったことを、保育者や友達に伝える。</p>
<p>◎ねらい ◎内容</p>				

<p><b>健康に関心がもてるように</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の体の健康について関心がもてるように、早寝早起きや食事など、いろいろな角度から話をしている。</li> <li>◆ひとりひとりの状態を見守り、自分から気づけるように、うがいや手洗いなどの必要性を話し合っていく。</li> </ul>	<p><b>一緒に楽しめるように</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆子どもの考えたルールがうまく伝わっていないときは、補ったり、正しい言葉に替えたりしていく。</li> <li>◆すぐろくなどのゲームに負けた悔しさや共感し、あきらめずに挑戦する姿を認め、次への意欲につなげていく。</li> </ul>	<p><b>ルールのあるあそびを工夫する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆アイデアが出すぎて、なかなかかまわまらないときは、保育者が仲立ちをしてルールを整理する。</li> <li>◆ルールがうまく機能しないときは、その都度柔軟に変え、保育者も一緒に遊び、楽しめるようにする。</li> </ul>	<p><b>見通しをもつて過ごすために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆活動の内容ややり方について話し合う場を設け、自分たちで活動の終了時間にも気づけるようにする。</li> <li>◆時間、曜日などを意識的に伝え、パネルを用いて表示したり、時計と一緒に見て確認したりすることを習慣にする。</li> </ul>
<p><b>環境・援助・配慮のポイント</b></p>	<p><b>オリジナルのすぐろくやカレンダーを作る楽しさを</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆子どもたちの「こんなものを作りたい」などの思いを受け止め、イメージが湧くように、どんなすぐろくやかるたを作りたいのか聞きながら整理する。</li> <li>◆友達と協力して、作る楽しさを感じられるように、場所や十分な時間の確保を行っていく。また、自分たちで文字を調べられるよう、あいうえお表や絵本などを用意しておく。</li> </ul>	<p><b>冬に関心をもてるように</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆子どもの気づきを受け止め、興味が広がるようにする。</li> <li>◆自然現象の不思議さに対する疑問や気づきに共感し、クラスで共有できるように周囲へ伝えていく。</li> </ul>	<p><b>節分に興味をもつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆絵本を読み聞かせや先生話から節分の由来を知らせる。</li> <li>◆みんなにどんなお面にしたいかを聞き、イメージがわからなくて困っている子がヒントを得られるようにする。</li> </ul>
<p><b>伝える楽しさを味わうために</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆休み中のことを発表する機会をつくり、伝える楽しさを味わえるようにする。</li> <li>◆経験したことや感じたことを、相手にわかるように話すためには、どうすればよいかを一緒に考え、必要に応じて適切な言葉を補っていく。</li> </ul>	<p><b>5年生との学校給食交流会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆5年生のクラスへ入るグループ分けを決め、期待が持てるようにする。</li> <li>◆小学校での約束事を掃除当番の5年生から確認しながら、安心して給食交流へ参加できるように配慮する。</li> </ul>	<p><b>自然現象に興味に向く遊びを</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆麻揚げを通して、自分なりのめあてを持ち、飛ばし方を工夫している姿や友達と互いに教え合っている姿を認めていく。</li> <li>◆風の向きや強さを意識できるよう「今日は風が強いね」「こちから風が吹いている」など、子どものつぶやきを受け止め、気づきや思いを周囲にも知らせる。</li> </ul>	<p><b>「文字や数字に関心をもつ」について</b></p> <p>読み書きに関心があり、すでに読み書きができる子、反対にあまり興味がなく、ほとんど読めない子との差が大きかったため、最初は、固定された少人数でトランプやかるたをしてあそんでいることが多かった。しかし、保育者も一緒にあそびながら、意図的にほかの子どもを誘ってあそんでみると、みんなでも一緒にあそび、誘い合ってあそび姿が見られるようになっていった。</p>
<p><b>健康に関心がもてるように</b></p>	<p><b>「友達とルールを工夫する」について</b></p> <p>初めは、自分の思いを通そうとする姿が強く、トラブルになる姿もあれば見られた。自分の考えを認めてもらうことで満足したのか次第にあそびを楽しくしようと、お互いの意見を譲歩し合い、あそびを作り上げていくことができた。しかし、なかには、考えが伝えきれずに相手の言うとおりにしてしまったりもいたかもしれないので、一人一人の考えや思いを引き出すよう配慮が必要だと思ふ。</p>	<p><b>「文字や数字に関心をもつ」について</b></p> <p>読み書きに関心があり、すでに読み書きができる子、反対にあまり興味がなく、ほとんど読めない子との差が大きかったため、最初は、固定された少人数でトランプやかるたをしてあそんでいることが多かった。しかし、保育者も一緒にあそびながら、意図的にほかの子どもを誘ってあそんでみると、みんなでも一緒にあそび、誘い合ってあそび姿が見られるようになっていった。</p>	<p><b>「友達とルールを工夫する」について</b></p> <p>初めは、自分の思いを通そうとする姿が強く、トラブルになる姿もあれば見られた。自分の考えを認めてもらうことで満足したのか次第にあそびを楽しくしようと、お互いの意見を譲歩し合い、あそびを作り上げていくことができた。しかし、なかには、考えが伝えきれずに相手の言うとおりにしてしまったりもいたかもしれないので、一人一人の考えや思いを引き出すよう配慮が必要だと思ふ。</p>
<p><b>健康に関心がもてるように</b></p>	<p><b>「友達とルールを工夫する」について</b></p>	<p><b>「文字や数字に関心をもつ」について</b></p>	<p><b>「文字や数字に関心をもつ」について</b></p>
<p><b>健康に関心がもてるように</b></p>	<p><b>「友達とルールを工夫する」について</b></p>	<p><b>「文字や数字に関心をもつ」について</b></p>	<p><b>「文字や数字に関心をもつ」について</b></p>

発のねらい	園生活を楽しくし、仲間と遊ぶこと、不安から逃げられない子、保護者から離れること、個人差が大きい。色々な遊びや玩具に興味を持ち、喜んで遊ぼうとする子どもと周りの様子を見ている子がいる。
ねらい	○園生活を楽しくし、仲間と遊ぶこと。 ○保育者と触れ合いながら遊びを楽しむ。新しい場所や生活に慣れる。 ○保育室の玩具や遊具等、興味を持って遊ぶことを楽しむ。
内容	○親子で入園式に参加する。 ○保育者に親しみをもち、名前を覚えたり、一緒に遊んだりする。 ○保育者に支えられながら新しい保育室の生活に少しずつ慣れる。 ○自分の好きな玩具や遊具で遊ぶ。

期	I期(4月～5月) II期(6月～8月) III期(9月～10月) IV期(11月～12月) V期(1月～3月)
行事	先生来たよ! 親しみを感じて 好きな遊びを思い思いに いろいろな場で あれもこれもやってみたい 自分らしさを出して のびのびと

**保育者に親しみをもち、一緒に遊んだりする**

一人ひとりを温かく親しみをもち、名前を呼ぶ、挨拶をしたり、触れ合い遊びをしたりしながらコミュニケーションを取り、安心感を持てるようにする。不安がたまり、泣いたりする子どもの気持ちを受け止め、手をのびたり、優しく声をかけたりして一人ひとりに寄り添っていく。

保育者から離れることを嫌がる子には、子どもの気持ちから離れ、まで保護者と過ごせるようにする。等、保護者と連携し、安定して過ごせるよう配慮していく。

それぞれのありのままの姿やしていることを受け止めること、保護者と一緒に遊ぶこと、明るい雰囲気をつくっていく。

子ども達の知っている音楽を流すなど、明るい雰囲気をつくっていく。

**名前を覚えたり、一緒に遊んだりする**

一人ひとりを温かく親しみをもち、名前を呼ぶ、挨拶をしたり、触れ合い遊びをしたりしながらコミュニケーションを取り、安心感を持てるようにする。不安がたまり、泣いたりする子どもの気持ちを受け止め、手をのびたり、優しく声をかけたりして一人ひとりに寄り添っていく。

保育者から離れることを嫌がる子には、子どもの気持ちから離れ、まで保護者と過ごせるようにする。等、保護者と連携し、安定して過ごせるよう配慮していく。

それぞれのありのままの姿やしていることを受け止めること、保護者と一緒に遊ぶこと、明るい雰囲気をつくっていく。

子ども達の知っている音楽を流すなど、明るい雰囲気をつくっていく。

**保育者に親しみをもち、一緒に遊んだりする**

一人ひとりを温かく親しみをもち、名前を呼ぶ、挨拶をしたり、触れ合い遊びをしたりしながらコミュニケーションを取り、安心感を持てるようにする。不安がたまり、泣いたりする子どもの気持ちを受け止め、手をのびたり、優しく声をかけたりして一人ひとりに寄り添っていく。

保育者から離れることを嫌がる子には、子どもの気持ちから離れ、まで保護者と過ごせるようにする。等、保護者と連携し、安定して過ごせるよう配慮していく。

それぞれのありのままの姿やしていることを受け止めること、保護者と一緒に遊ぶこと、明るい雰囲気をつくっていく。

子ども達の知っている音楽を流すなど、明るい雰囲気をつくっていく。

**新しい保育室の生活に少しずつ慣れる**

保育者と一緒に慣れながら、支度や生活の仕方を丁寧に知らせ、安心して覚えられようとする。口言葉、挨拶、着替え、カゴ等に個人マークを貼り、子どもにも保護者にも分かりやすくする。

○朝の支度

○着脱等、生活の仕方

自分の持ち物や片付けの場所を一緒に確認しながら、片付け方を繰り返し知らせ、覚えられようとする。支度の模様をして、生活や遊びの場を覚えようとする。

支度の模様をして、生活や遊びの場を覚えようとする。支度の模様をして、生活や遊びの場を覚えようとする。

**自分の好きな玩具や遊具で遊ぶ**

【室内】・ブロック・ままごと・人形・絵本・折り紙・お絵かき・パズル・ロケット等

【屋外】・フラコ・すべり台・砂場

○お給食

一人ひとりの食べられる量や好き嫌い等を把握し、食事の量を調整しながら、無理なく食べられるようにする。

アレルギ-の子の配慮は、保育者で声をかけたり、食事を手配したりするなど丁寧にかかわる。

排せつ失敗した時には、優しく声をかけながら、安心して着替えられようとする。

排せつ失敗した時にスムーズに対応できるように指導や練習を準備しておく。

排せつ失敗した時、友達を押ししたりすることがないよう配慮する。

**入園式に参加する**

笑顔で声をかけながら、親しみやすい雰囲気を演出し、子どもと保護者を繋ぎ入れる。

○当日の日程

8:15～8:35 着替え、水やり、遊具確認  
8:40～8:50 園舎打ち合わせ  
9:00～9:30 クラスのあそび  
9:15～9:30 開場  
9:30～9:45 入園式  
10:00～10:30 入園式  
10:30～10:45 学級開き

**入園式に参加する**

笑顔で声をかけながら、親しみやすい雰囲気を演出し、子どもと保護者を繋ぎ入れる。

○当日の日程

8:15～8:35 着替え、水やり、遊具確認  
8:40～8:50 園舎打ち合わせ  
9:00～9:30 クラスのあそび  
9:15～9:30 開場  
9:30～9:45 入園式  
10:00～10:30 入園式  
10:30～10:45 学級開き

**入園式に参加する**

笑顔で声をかけながら、親しみやすい雰囲気を演出し、子どもと保護者を繋ぎ入れる。

○当日の日程

8:15～8:35 着替え、水やり、遊具確認  
8:40～8:50 園舎打ち合わせ  
9:00～9:30 クラスのあそび  
9:15～9:30 開場  
9:30～9:45 入園式  
10:00～10:30 入園式  
10:30～10:45 学級開き

**入園式に参加する**

笑顔で声をかけながら、親しみやすい雰囲気を演出し、子どもと保護者を繋ぎ入れる。

○当日の日程

8:15～8:35 着替え、水やり、遊具確認  
8:40～8:50 園舎打ち合わせ  
9:00～9:30 クラスのあそび  
9:15～9:30 開場  
9:30～9:45 入園式  
10:00～10:30 入園式  
10:30～10:45 学級開き

**入園式に参加する**

笑顔で声をかけながら、親しみやすい雰囲気を演出し、子どもと保護者を繋ぎ入れる。

○当日の日程

8:15～8:35 着替え、水やり、遊具確認  
8:40～8:50 園舎打ち合わせ  
9:00～9:30 クラスのあそび  
9:15～9:30 開場  
9:30～9:45 入園式  
10:00～10:30 入園式  
10:30～10:45 学級開き

**入園式に参加する**

笑顔で声をかけながら、親しみやすい雰囲気を演出し、子どもと保護者を繋ぎ入れる。

○当日の日程

8:15～8:35 着替え、水やり、遊具確認  
8:40～8:50 園舎打ち合わせ  
9:00～9:30 クラスのあそび  
9:15～9:30 開場  
9:30～9:45 入園式  
10:00～10:30 入園式  
10:30～10:45 学級開き

**入園式に参加する**

笑顔で声をかけながら、親しみやすい雰囲気を演出し、子どもと保護者を繋ぎ入れる。

○当日の日程

8:15～8:35 着替え、水やり、遊具確認  
8:40～8:50 園舎打ち合わせ  
9:00～9:30 クラスのあそび  
9:15～9:30 開場  
9:30～9:45 入園式  
10:00～10:30 入園式  
10:30～10:45 学級開き

**入園式に参加する**

笑顔で声をかけながら、親しみやすい雰囲気を演出し、子どもと保護者を繋ぎ入れる。

○当日の日程

8:15～8:35 着替え、水やり、遊具確認  
8:40～8:50 園舎打ち合わせ  
9:00～9:30 クラスのあそび  
9:15～9:30 開場  
9:30～9:45 入園式  
10:00～10:30 入園式  
10:30～10:45 学級開き

**入園式に参加する**

笑顔で声をかけながら、親しみやすい雰囲気を演出し、子どもと保護者を繋ぎ入れる。

○当日の日程

8:15～8:35 着替え、水やり、遊具確認  
8:40～8:50 園舎打ち合わせ  
9:00～9:30 クラスのあそび  
9:15～9:30 開場  
9:30～9:45 入園式  
10:00～10:30 入園式  
10:30～10:45 学級開き

**入園式に参加する**

笑顔で声をかけながら、親しみやすい雰囲気を演出し、子どもと保護者を繋ぎ入れる。

○当日の日程

8:15～8:35 着替え、水やり、遊具確認  
8:40～8:50 園舎打ち合わせ  
9:00～9:30 クラスのあそび  
9:15～9:30 開場  
9:30～9:45 入園式  
10:00～10:30 入園式  
10:30～10:45 学級開き

**入園式に参加する**

笑顔で声をかけながら、親しみやすい雰囲気を演出し、子どもと保護者を繋ぎ入れる。

○当日の日程

8:15～8:35 着替え、水やり、遊具確認  
8:40～8:50 園舎打ち合わせ  
9:00～9:30 クラスのあそび  
9:15～9:30 開場  
9:30～9:45 入園式  
10:00～10:30 入園式  
10:30～10:45 学級開き

**入園式に参加する**

笑顔で声をかけながら、親しみやすい雰囲気を演出し、子どもと保護者を繋ぎ入れる。

○当日の日程

8:15～8:35 着替え、水やり、遊具確認  
8:40～8:50 園舎打ち合わせ  
9:00～9:30 クラスのあそび  
9:15～9:30 開場  
9:30～9:45 入園式  
10:00～10:30 入園式  
10:30～10:45 学級開き

**入園式に参加する**

笑顔で声をかけながら、親しみやすい雰囲気を演出し、子どもと保護者を繋ぎ入れる。

○当日の日程

8:15～8:35 着替え、水やり、遊具確認  
8:40～8:50 園舎打ち合わせ  
9:00～9:30 クラスのあそび  
9:15～9:30 開場  
9:30～9:45 入園式  
10:00～10:30 入園式  
10:30～10:45 学級開き

**入園式に参加する**

笑顔で声をかけながら、親しみやすい雰囲気を演出し、子どもと保護者を繋ぎ入れる。

○当日の日程

8:15～8:35 着替え、水やり、遊具確認  
8:40～8:50 園舎打ち合わせ  
9:00～9:30 クラスのあそび  
9:15～9:30 開場  
9:30～9:45 入園式  
10:00～10:30 入園式  
10:30～10:45 学級開き













### 3 連続性の視点における留意点

#### (1) 2歳から3歳への移行の配慮

保育所及び幼保連携型認定こども園(以下、保育所等)は、3歳未満の子どもに対する保育と、満3歳以上の子どもに対する教育並びに保育を行う施設です。そのため3歳児の学級では、3歳未満から保育所等に通い進級する子どもと、3歳から新たに入園する子どもとが同じクラスになります。また、新たに入園する子どももいます。

近年は小規模保育施設で3歳まで保育を受ける子どもが増えており、それらの保育施設と3歳以降に入園する保育施設との接続・連携が課題になっています。保育所等における2歳児クラスから3歳児クラスへの移行にあたっては、入園する子どもの保育歴や保育経験の多様性も考慮して、進級児、家庭からの入園する子ども、ほかの保育施設等からの入園する子どもそれぞれに応じた配慮が必要となります。

保育所等における2歳から3歳への移行における配慮では、進級や入園に伴う戸惑いや不安を和らげるとともに、進級や入園に対する子どもや保護者の期待や安心感を高めることが重要となります。また、一人ひとりの子どもの特性を理解して、きめ細かく対応できるための工夫が必要です。

具体的な観点としては3つあります。

- ① クラス規模が大きくなり保育者に対する子どもの人数が増えること
- ② はじめての集団生活を経験すること
- ③ 生活経験等の異なる園児がともに1つのクラスとなることへの配慮

いずれも、子どもの発達と生活の連続性を考慮して、柔軟に段階的に対応することが求められます。

これらの配慮は、3歳児クラスに進級・入園してからだけでなく、2歳児クラスや入園前から行うことで、子どもや保護者、保育者にとって無理のない円滑な移行を生み出していくことができます。

#### 進級児への対応

- 2歳児クラスの後半の時期から3歳児クラスとの交流を増やす。
- 2歳児クラスの担任だった保育者のうち、最低1名を3歳児クラスに配置する
- 環境や保育内容での連続性に配慮し、2歳児クラスで慣れ親しんだ遊具や活動を3歳児クラスでも取り入れる

#### 【例1】 新入園児への対応

- 3歳児クラスのはじめの時期は、進級児と新入園児それぞれにとって無理のないように、実態に応じて異なる生活リズムや空間で過ごし、徐々に一緒に過ごせるように合流するなどの工夫を行う。

#### 【例2】 家庭からはじめて保育施設に入園する子どもへの対応

- 新入園児のうち家庭からはじめて保育施設に入園する子どもに対しては、入園前から一時預かりや親子登園などの機会を通して保育所等の環境や活動に慣れ親しめるようにする。

#### 【例3】 小規模保育施設から移行してくる子どもへの対応

- 小規模保育施設などから移行してくる子どもに対しては、入園前から情報交換や行事への参加などを行い、保育所児童保育要録のような記録による引き継ぎを行うなどの連携を図るようにする。